



# 議会だより たよよる

2007 . 1 . 1 発行

3  
No.



風連児童会館・もちつきの集いで親子楽しく  
(12月9日)



親子で休日を  
楽しむ姿も多い  
サンピラー交流館



サンピラー交流館でカーリングを見ながらの三輪車は楽しいゾ～。

## 第3回定例会

主  
な  
内  
容

定例会で決まったこと・議員協議会 .....	2
各会計決算審査特別委員会・新年のご挨拶 .....	3
一般質問に20人 .....	4～13
各委員会報告 .....	14～15
あすなる・議会日誌・編集後記 .....	16

平成18年  
第3回定例会  
12月1日～15日

# 職員給与条例を改正

## 十九年四月から 助役は「副市長」に改める

平成十八年第三回定例会は、十二月一日から十五日までの十五日間開かれました。  
島市長の行政報告を受け、議案等の審議では、平成十七年度名寄市各会計決算など議案審議で三十件、請願一件、意見書案十四件、報告四件が可決されました。  
また、一般質問は十二日から十五日の四日間行われ、二十人の議員が市政に関する課題などについて質問しました。

### 主な条例

名寄市副市長の定数を定める条例の制定

地方自治法の一部改正により、「副知事及び副市町村長の定数は条例で定める。」という規定が平成十九年四月一日から施行となることから、当市においても、これまでの助役から副市長に改めるもの。

名寄市職員の給与に関する条例の一部改正  
十七年度の人事院勧告に基

づき、給与構造改革を平成十九年一月から導入すること。さらには、厳しい財政状況に対応するため、職員の給料を平成十九年一月から平成二十一年九月まで四％削減するもの。

### 議員協議会

全議員で構成する議員協議会が十月二十七日、十二月十八日に開れた。協議事項は、十月が風連地区都市計画税について、風連市街地再開発に

ついての二件。十二月は新名寄市総合計画(第一次)の策定についてであった。

風連地区都市計画税については、十八年三月二十四日の用途地域指定に伴い、発生する税だが、当初は補助金適正化法から二十三年度実施としていただけに、十二分な住民理解を得るための説明責任を果たすことが求められ、風連市街地再開発事業でも現段階で総事業費約二十四億円、うち市負担が十四億四千万円であることから、事業推進への期待感とともに市民理解への必要性が強調された。

新名寄市総合計画にかかわっては、市の十年後を展望する重要な計画であり、財政展望を含め活発な議論となった。

# 迎春

## 市政クラブ

- |        |       |       |      |       |       |      |       |        |     |      |       |       |       |       |        |      |      |      |
|--------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|--------|-----|------|-------|-------|-------|-------|--------|------|------|------|
| 小野寺 一知 | 野々村 勝 | 宗片 浩子 | 黒井 徹 | 岩木 正文 | 駒津 喜一 | 東 千春 | 三宅 幹夫 | 大久保 光義 | 凧風会 | 林 寿和 | 村端 利克 | 堀江 英一 | 木戸口 真 | 川村 正彦 | 日根野 正敏 | 佐藤 勝 | 宮田 久 | 谷内 司 |
|--------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|--------|-----|------|-------|-------|-------|-------|--------|------|------|------|

平成17年度

各会計決算審査特別委員会

原案通り認定と決定

5日間で8会計決算を審査  
 質疑は276項目 578点に

平成十七年度名寄市各会計決算をはじめとする八会計決算の認定について、十月二十七日、十一月九・十日及び十三日から十五日までの五日間行われた。審査の結果、名寄市一般会計は採決により原案通り認定すべきものと決し、残る決算については全会一致で認定すべきものと決定した。今回の審査は、合併前までの名寄市決算、風連町決算、



新年のご挨拶

名寄市議会議長

田中之 繁

新市誕生後の初の新年、市民の皆様には、お健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年、新総合計画に基づいたまちづくりがスタート致します。議会においても、相互信頼を第一に、互いの生活、文化を尊重し、融和と一体感を持って取り組んでまいります。

高速道路、光通信等交通、情報網は延伸され、都市と

地方の距離は縮まっています。更に大動脈に接続する必要があります。市民の皆様には特段のご支援をお願い致します。

市立大学は関係者の努力はもとより、市民の皆様との協力を得て順調にスタート致しました。新しい名寄市を市民の皆様と一っしょに創るため、そして期待に応える議会運営へと決意を新たにします。



佐藤 靖 委員長

山口 祐司 副委員長

合併後五日間の新名寄市決算の三決算について行うという市議会初の決算委員会となるとともに、これも初めてインターネットで生中継した。五日間の審査は延べ約三十分間に及び、各委員から質問項目にして二百七十六項目、再質問以降を含めると延べ五百七十八点にわたる質疑が行われ、名寄市一般会計は採決により原案可決となったが、特別会計、企業会計を含む他会計決算は原案通り可決すべきものと結審した。

市民連合

熊谷吉正

竹中憲之

植松正一

佐藤靖

福光哲夫

風連クラブ

野本征清

中野秀敏

渡辺宏治

田中好望

山口祐司

清風クラブ

猿谷繁明

栗栖賢一

武田利昭

田中之繁

日本共産党

斉藤晃

まちづくり

渡辺正尚

公明

高橋伸典

一般質問

## 財源は当分基金に依存

野々村 勝議員（市政クラブ）

予算編成の基本は

**問** 新名寄市誕生一年を迎え、十九年度予算は重要な意味を持つ。考え方と規模は。財政が厳しい中、基金の取り崩しと今後の運用は。特に、経常収支比率の悪化が事業発展に

職員の適正管理を

支障はないか。また、自衛隊の基地周辺整備事業の恩恵で南プールも完成する。名寄駐屯地の隊員の活躍、名寄市民の行動は高く評価されている

**答** 二十一年度まで退職する一般職員は六十二名。全職員に占める割合は、一三%で高い割合だ。事業見直し、組織スリム化を図り適正配置と定員管理を進める。

中、防衛庁の「省」の昇格に対する見解と併せ、基地周辺整備事業の過去三年間の実績、今後の事業申請の予定は。

**問** 団塊世代の市職員の退職が相当数にある。行政改革をしつかりすることが必要だ。

**答** 予算は大胆な発想の転換を指示。地域経済への波及効果を考慮。規模は百九十億円程度。基金に依存する財政運営を当分の間考えている。経常収支比率の悪化は、市税および地方交付税の影響が大きい。事業は年度間のバランス取りながら進める。防衛の「省」昇格については、防衛の基本は、内閣と国会の管理の

下、運営される事になりな

い。基地周辺整備事業では、

十六から十八年まで、五億三千六百万円。十九年度で七千万円を要望している。

職員

**問** 団塊世代の市職員の退職が相当数にある。行政改革をしつかりすることが必要だ。

**答** 二十一年度まで退職する一般職員は六十二名。全職員に占める割合は、一三%で高い割合だ。事業見直し、組織スリム化を図り適正配置と定員管理を進める。

風連市街地再開発は

**問** 合併しても寂れない風連地区の願いを込めた本事業は、

一步前進し構想が示されたが、事業全体に対しての費用対効果の推計は。コンパクトな街並みとテナント誘致の考え、及び共同住宅建設の狙いと既存瑞生住団地の住み替えに対する考え方は。

**答** 商業施設と公共施設の併設により、利便性や集客性が図られ消費購買の向上などに大きな相乗効果をもたらし、

絶対的に事業による大きな成果が期待される。コンビニなどの参入の申し出もある既存団地の住み替えは、住宅マスタープランで入居者の意向調査を踏まえ整合を図る。

天塩川緑地パーク場管理は

**問** 風連地区天塩川緑地パークゴルフ場の維持管理について、管理人の配置が必要では。市と運営委員会の役割分担を従前の確認事項を含めて再点検すべきでは。エリアの拡大

一般質問

## 再開発事業の費用対効果は

野本 征清議員（風連クラブ）

に向け、指定管理者制度を視野に入れての対応が必要ではないか。

**答** これまでの市民サポートを大事にしながら運営委員会と市がそれぞれの業務を分担し、維持管理に当たっていき

たい。将来は指定管理者制度の導入について考えていかなければならない。重い業務は市で、軽度は運営委と考えている。

他の質問・環境にやさしいごみ対策について・市民ニーズと職員の士気について



基地周辺整備事業の恩恵が！



利用の多い風連天塩川緑地パークゴルフ場

一般質問

## 安心して災害に強い街を

高橋 伸典 議員（公 明）

### 住民基本台帳カードの活用

**問** 住民基本台帳カードの空き領域を活用したサービスと、ICカード標準システムを活用して災害による非難の際、各避難所に本人の所在が確認できるシステムの構築は。

**答** 住民基本台帳カードの空き領域を活用し、住民への独自サービス提供はしていないが、全国的にサービス提供が広がりつつある。今後、住民カードの普及状況と市民の利便性の向上、有効なサービスを検討する。「ICカード標準システム」は、住民基本台帳カードを利用した住民サービスを提供するシステムとして、財団法人地方自治体情報センターが希望する市町村に無償で提供している。システム構築は、ICカード標準システムを利用した独自サービス開発の委託、導入構築、道内自治体共同による開発構築を視野に入れて判断していく。

### 水道に福祉的軽減

**問** 高齢者世帯、重度障がい者を抱える世帯、生活保護世帯を対象に、水道及び下水道料金の減免措置導入の考えは。

**答** 旧名寄市にはなかったが、旧風連には平成十年まで福祉策を取り入れていた。現在両地区で料金に違いがあり、統一した新たな料金設定を策定している段階で、福祉軽減が図れるのかについて、担当と連携し協議していく。

**他の質問・災害時初動体制・災害弱者への緊急通報体制**



災害時に住基カードの利用を

一般質問

## 公民協働の地域福祉を

東 千春 議員（市政クラブ）

### 保健・医療・福祉の連携充実

**問** 地域包括支援センターの準備状況は。また、保健、医療、福祉の連携と公民協働による地域福祉は。関連するボランティアの育成と療養病床の推移と入院患者の状況は。

**答** センターは名寄庁舎に置き、風連庁舎をサブとして十九年四月から開始する。核家族化や高齢世帯の増加から保健、医療、福祉への要望は増大する。市民が地域福祉ボランティアとして、学んだ事を実践できるよう生涯学習との連携も必要。診療報酬改定により、療養病床で医療区分に該当する入院患者が多い場合経営は厳しくなるが、現在は強制的退院を求める事はない。高齢者人口の推移を想定しながら必要施設等、第四期介護事業計画に反映させたい。

**市役所機構と人事管理は**

**問** 職員の公正適正な人事評価について。また、職員の業務量の偏り方や変動に柔軟な

### 対応を。

**答** 十七年度に、人勧の報告で人事評価の導入が示されていたが、現段階では評価の範囲、手続き、基準などが整備、確立されていない。今後、同等の講習、研修を行い二十二年度からの導入実験を目指したい。業務量偏りによる対応では、市職員の応援体制に関する規定から、選挙時に対応したが、さらに柔軟な応援体制に努める。

**他の質問・街路樹に関する街路計画について**



診療報酬改定後も強制的退院を求めることはない

一般質問

## 市街地再開発の促進は

村端 利 克 議員（凜 風 会）

さらなる推進を

**問** 駐在所を含めた道路開発は、農協倉庫より南線道路工事は市街地再開発事業と並行して取り組むべき。

**答** 住宅建設は三十戸以上にすべきと考える。診療所改築と風連調剤薬局隣接を考えた店舗構想と、保健センターの充実に向け保健関係を集中し、多目的ホールの活用、利便性を考えた取り組み、十年後二十年後を見込んだ取り組みをするべきである。

**問** 駅前の道路改良工事は直線道路として早い時期に検討し取り組みたい。マスタープランが出来次第検討する。

**答** 多目的ホールは一般会議室及び斎場・各種イベントにも活用できる施設、診療所の建設と、風連調剤薬局を隣接した一般の福祉関係、診療とリハビリ施設を含む保健センターの機能を発揮出来る施設に。

住宅・公営住宅関係はマス



風連駅前道路の改良を

風連の特養について

**問** 特養施設の民営化時期及び入居者に対する負担増と、職員の待遇について。

**答** 民営化の時期は十九年度に実現したい。入居者の負担増にはしない。職員の対応は配置換えも含め検討する。

社会福祉協議会支所は民営化時期に合わせ検討する。

一般質問

## 快適で安心なまちを

宮田 久 議員（凜 風 会）

安心・安全な市民生活

**問** 法律に基づき地域防災計画及び一般廃棄物処理計画が合併と同時に策定すべきものとされており、策定中の新名寄市総合基本計画の大きな柱にも、自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくりが求められている。発生する災害に対し、地域内の企業や個人が自ら進んで、防災、ゴミ対策に協力的な態勢がある。しかし、ゴミ対策は旧風連町当局の強力な指導の下、住民の熱心な協力により、ゴミ減量・リサイクル・分別等々素晴らしい活動に対して水を差すことにならないか。

**答** 市と市民が協力して、安全で住みよい地域社会を実現することが重要であり、年度内に策定する。

**問** 公務員災害認定に関する先の一般質問に対し、その後調査がなされ、その結果本件

名寄市職員安全衛生管理規則について

策定されていない新市防災計画



策定されていない新市防災計画

一般質問

## 名寄市の防災計画

岩木正文 議員（市政クラブ）

わかりやすい計画を

**問** 防災計画は、小学生からお年寄りまで理解できてこそ役に立ち、安全を守れると思う。行政には足元での防災計画の再点検を求めているが、見解を。ピクトグラム（図記号）を導入し、標識など絶えず目に訴えて、理解してもらおうことがいざという時の為に必要と思うが、考えは。

**答** 市民の皆さんにより身近で、ポイントとなる防災情報を提供して用知徹底を図るべく、同計画に基づいて市民向けの小冊子を作成して全戸配布したい。ピクトグラムは、全国的な統一も含めて導入を考えていく。

**問** いじめの対応と対策は

**答** いじめ問題が、深刻化する前に早期発見と解決に努め、子供が安心して学習に打ち込

### ■お年寄りなどの避難に協力を



住民に周知・徹底を

める居場所作りに取り組みように、改めて指導を強化している。いじめ問題は、子どもたちの心に起因し、教職員による日頃からの目配りが大切であり、カウンセリングの知識や技能が求められる。大学との連携を進め、専門家の指導助言等を通して、教職員のスキルアップを図る。

**他の質問**・自主財源確保のひととして、有料広告における考え方・冬の公園における駐車をしての利用に対する考え方。

一般質問

## 新名寄市の構築を

木戸口真 議員（凜風会）

来年度予算について

**問** 合併初年度の予算では八億円の基金繰入金に依存するものだったが、年度末の決算見通しと平成十九年度予算編成の取り組みは。

**答** 十八年度の決算見込みについて、合併の影響で歳出執行の傾向分析が十分できなかったことで、財政調整基本の積み戻しは難しく、基金繰り入れを単純差し引くと赤字決算となる。平成十九年度予算規模については、概ね百九十億円と考える。事業費の調整では、合併特例債・過疎債などの有利債を活用し、普通建設事業費を年度毎で二十五、三十億円位を予定している。基金については、十九年度予算編成で使い果たす事態になることも想定している。

**問** 街路灯、防犯灯の今後は

**答** 街路灯・防犯灯の電気料・修繕料の現状は、合併協定書では合併後に調整し再編するところだが、早期に統一するべ

き。

**答** 名寄地区では電気料二千三百七十八万円、修繕料百四十三万円が金額市の負担。風連地区では電気料五百二十一万七千円、修繕料二十九万二千円を一部負担している。負担は、街路灯は一戸当り二千元程度。防犯灯は一戸当り二百円の負担となっている。今後は名寄方式で調整したい。

**他の質問**・小規模業者対策



新しい街路灯の取り替えが進められている風連町仲町

一般質問

専門指導員の増員等を

竹中 憲之 議員（市民連合）

給食センターの課題

**問** 統合後の風連地区の搬送方法と、給食会で行ったアンケートの課題及び活用について。また、給食費未納者への「断固たる処置」となっている意味は。

**答** 搬送については、委託で風連全学校へ一回で搬送、所要時間は一時間十分程度と試算しているが、冬期間の安全運行も考慮したい。アンケートの意見等も参考に、地場産品を活用した献立内容を工夫し、おいしい給食を提供したい。未納者に対する断固たる処置とは、裁判も見据えてと理解している。

適応指導教室の増員を

**問** 教育相談センターの業務で適応指導教室やハートダイヤルなどがあるが、業務増に伴い専門相談員の増員は。適応指導教室が通室者の増等から手狭となっており、教室の増設または移設の考えは。さらに、市外からの電話相談も



より充実が求められる教育相談センター

多くなっていることから、広域的な対応と連携・措置が必要と考えるが見解を。

**答** 専門相談員については、増員を考えたい。適応指導教室については手狭と感じているが、現状厳しさがある。ハートダイヤルについては、今後関係機関等と広域的に連携し検討したい。  
**他の質問**・市民憲章の制定時期と、市民の意見をどう憲章に反映させるのか。市条例、規定にかかわる内規のあり方について

一般質問

農業を育てるには

武田 利昭 議員（清風クラブ）

農業振興対策は抜本改革で

**問** 全道的な人口の減少で後継者のいない農家が増加し、農村が崩壊するとも考えるが見解を。

**答** 担い手の減少や高齢者、さらには世界貿易機関交渉の情勢は大きく変わっている。このままでは立ち行かないと国は基本計画を見直し、担い手の経営全体に着目した「品目講断的経営守定対策」「農地・水・環境保全向上対策」「米政策改革推進対策」の三本を打ち出した。

これらの対策によって、構造改革を進め、力の強い農業農村の実現と、食料の安定供給に果す役割を担い、国、道の各般の施策を総合的、計画的に推進し、農家戸数は減っても、名寄農業は維持発展ができるよう努力している。

生産目標の策定を

**問** 道の十年後の農産物生産目標に協調して、地方としても生産目標を策定すべき。



農業をさらに育てることが必要  
(上川ライスターミナル名寄工場)

**答** 平成十八年に「北海道農業、農村振興計画」を策定した。生産目標は、平成二十七年の作付面積、生産量を示し、道の生産努力目標や地域の作付け実態、品目横断的経営安定対策等を勘案し、現在策定中の新名寄市農業・農村振興計画の中に基幹作物、振興作物、重点作物等を区分して、目標の作付面積生産等を盛込んでいる。道の生産努力目標は作物ごとに設定されているが、各自治体個別の目標値は定めてはいない。

一般質問

## 風高存続へ全力で

日根野 正 敏議員（凜風会）

### 厳しい存続への道

**問** 道立高校として、存続を目指す上で残された選択肢はあるのか。また、市立校としての存続も調査、研究する必要があると考えるが見解は。

**答** 道立としての選択肢としては、単独での存続、産業キャンパス形、普通科キャンパス形、小中高一貫教育などがある。しかし、道教委とも懇談を重ねて来たが、極めて難しい。市立高校としての可能性についても、年間およそ五千万円の財政負担が予想される他、入学生が集まる可能性も薄いと考えられるので困難と判断をしている。

### 全国からの定住促進

**問** 全国の団塊世代の退職者数の激増を考慮し、市内に移住、定住にむけた情報発信と空家、空店舗の有効活用を。

**答** 現在、道内二ヶ所の移住促進協議会に加盟をして、PR活動をしている。また、名寄市のホームページ上にワン



存続を目指す風連高校

ストップ窓口を開設して、移住情報や環境の良さを情報提供している。空き家、空き店舗は、移住定住の受け皿として重要と考えている。今後は市内の関係業者と連携を密にしながら、ホームページに移住・定住・空家等の情報を掲載できるように検討をしている。他の質問・農地の流動促進についての現状課題と今後

一般質問

## 新建造物に福祉視点を

佐藤 靖議員（市民連合）

### 合併特例債は総計前期で四割

**問** 市の財政状況は厳しいものがあるが、合併特例債の活用を誤ると後年度の新たな負担となる。新総合計画の前期、後期での活用割合は。また、風連市街地再開発事業は現在の試算では総事業費約二十四億円中、十四億四千万円が市負担であり、民間活力の導入などで事業費の抑制、コンパクト化を含め再検証する必要があるのではないか。一方、嘱託職員や、臨時職員の雇

年齢制限、報酬額については、年金支給年齢上昇、人材確保と育成の見地から見直しすべきではないか。

### 合併特例債の活用割合は

**答** 合併特例債の活用割合は、総計前期が四割、後期六割を見込んでいる。風連市街地再開発は、当初の二・三が一・九に規模縮小しており、公債費管理を含めて慎重に進めたい。嘱託職員などの対応については検討していきたい。新しい施設に福祉の視点を



公共施設にスロープはあるが...

**問** いじめ対策は学校だけではなく、社会教育で取り組むべき。新しく建設する公共施設は、担当部、建設部に福祉担当を加えた検討を。市立病院精神科棟の見直しは。

### いじめは、新しい社会教育

**答** いじめは、新しい社会教育推進計画でも踏み込んだ対応を検討したい。公共施設建設時には、福祉サイドを含めたプロジェクトを作り、検討を進める。精神科医師の確保は、確固たる目的が立っていないが、重要課題であり、確保に向けさらなる努力をする。

一般質問

## カーリングの振興を

黒井 徹 議員（市政クラブ）

道立公園の管理体制は

**問** 道立公園のサンピラー交流館がオープンしたが、管理者は。また、一般会計への影響はあるのか。さらにカーリングの普及振興の計画は。

**答** 北海道の指定管理者として名寄振興公社が選定され、道と四年間、約一億五千万円で管理運営協提を締結した。市への影響は、用地の先行取得したときの土地開発公社への償還費が平成二十年度まで五千八百万円ほどあるが、維持管理での負担はない。

カーリング振興は、カーリング協会の初心者講習会、生涯学習課、体育協会等と連携して、多くの方に親しんでもらうように考えたい。

農業に担い手育成を

**問** 名寄農業の課題と十九年度予算編成での農業政策重点事項は。また、担い手育成に對する考え方と政策について

**答** 主要な事業としては、新産地づくり対策「中山間地域



カーリングのよりいっそうの振興を

交付金」を活用し農地流動化対策、基幹作物、振興作物の推進に取り組む。担い手の育成については、補助、融資制度の優遇措置、異業種交流の拡大など、農業、農村を基盤とした新しいチャレンジ精神とまちづくりにつながる事業を検討する。また、もち米作付日本一を活かした新しいプロジェクトを立ち上げたいと考えている。

他の質問・市民向けの分かりやすい予算書の作成と公表を

一般質問

## 産地づくり交付金は

田中 好望 議員（風連クラブ）

交付金予定額は

**問** 一九九九年産うるち米の生産量は全国で五万 減となったが、北海道では一万二千の増加となった。これらを踏まえ、産地づくり交付金の予定額はどのようになるか。

**答** 米の需給調整は従来、国・道から市町村へ生産目標数量の配分から、米政策改革大綱に沿い、JA等の生産調整方針作成者が生産目標数量を決定するシステムとなった。交付の予定額は農水省の要求ベースで、産地づくり本体で五%減の千三百二十七億円。

関連施策を含めると千八百十七億道からの情報では、現対策並の交付額となる。名寄、風連を合せ九億三千万円程度は確保できる予定。

厚みをもたす対策は

**問** 交付金の活用については名寄、風連の水田農業の実情や地域特性により対策されているが、現状を踏まえどのような対策が考えられるか。



新しい作目の導入を目指し熱心な研修も行われている農業振興センター

**答** 産地づくり交付金の用途については、名寄、風連の両推進協議会で、それぞれの地域の特色が表されている。今後、新たな推進協議会で議論をする。誘導的用途については、取り組みによる加算やメリハリを付けた交付が望ましい。具体的には、基幹作物の安定生産、振興作物の誘導、担い手の支援、育成、農地流動化の促進、土づくり、産地PR等の構築を図っていく。

他の質問・農地の流動化対策について

一般質問

## 市立病院の将来展望

渡辺 正 尚 議員（まぢづくり）

### 異常気象への対応

**問** 今年の集中豪雨については、五月と十月にあった。真動別推移観測所では警戒水位を超え、十月には被害総額が約五千九百万円となった。

**答** サンプルダムが完成すると、下流域である名寄地区の水位が約一 下がるし、名寄川下流域に住んでいる中名寄地区や旭東区・旭東北区・日進地区の住民にとつても、安心・安全な生活が保障されると思うが、考えを。

**問** ダムが完成し、安全環境が整うまで要望活動を続ける。市立総合病院について

**答** 市立病院は、精神医療に關しても道北唯一の基幹病院であり、救急を含め他の診療科も重要だが、精神保健福祉法の指定による救急受け入れ等、地域の要望に添えてきており、無くすことにはならない。家族会とも協議する場を設け、同じ目線で理解しながら行動すべきであると考える。



10月の集中豪雨で浸水した名寄川パークゴルフ場

### 見解を。

また、敷地内の環境が全面禁煙の弊害で非常に悪い状況だ。医師や看護師などの医療スタッフや患者が敷地内で吸っているのが現状。

以前から提言しているように、たばこ税二億四千万円の一部で、敷地内の土地を文筆して取得し、敷地外にして喫煙所を設ける方が、敷地内環境に対して良いと思うが。

**答** 精神科については前向きに検討するが、喫煙所については今のところ考えていない。

一般質問

## くらし支援の予算編成

齊藤 晃 議員（日本共産党）

### 安心して暮らせる施策を

**問** 今年からの重税は、高齢者に大きな負担、勤労者の所得抑制、さらに豊作を喜べれない価格の下落とくらしに厳しさが反映している。

国の進める構造改革のもと、地方への交付金が減らされ続けている。名寄市と風連町の合併も、財政好転の目標もあると強調していた。

新市の十八年度の予算では、弱者への削減が行われた。

排雪ダンブ助成、インフルエンザワクチン補助、高齢者へのバス助成等、大きな予算でないものを削減した。

さらに、あんま・マッサージ補助金の廃止等進める計画もある。厳しいときだからこそ削減の復活や、市民のくらし支援施策の予算編成で住民サービスの継続を求めぬ。

**答** 国の交付税に不明な点もある財政運営は厳しい。新総合計画づくりで寄せられた市民の意見を盛り込みたい。

### 住宅リフォーム助成を

**問** 建築後の年数、老後の生活などから住宅のリフォームの願いがあがる。進めば仕事、波及効果と地域の活性化に大きく寄与する。実施市町の助成も十万円程度からと負担も大きくない、助成制度制定を。

**答** 対象個数は千四百五十戸程であり、相当数のリフォームが推測される。

民間住宅整備促進を計画している。また、市の住宅マスタープラン計画もあり検討を急ぎたい。



住宅リフォームに助成を

一般質問

精神科医師の確保は

植松 正一 議員（市民連合）

新しい農林業の施策は

**問** 農業、林業の従事者の減少、高齢化、担い手不足による農林業の生産構造のせい弱が進む中、新総合計画、振興計画策定中の新年度計画と担い手対策、林業の振興は。

**答** 平成十九年度から始まる経営所得安定対策等大綱に基づき、名寄市の各種施策を総合的、計画的に進める。主な事業は、農業生産基盤、畜産担い手育成確保対策、農道整備、農業経営の安定と支援対策、担い手育成確保対策、農業振興センターの充実、特産農作物のブランド化推進、グリーンツーリズムの推進、酪農ヘルパー事業等を計画している。今後は、担い手中心の構造改革を実行する。林業の振興は、新たな森林、林業基本法の制定で進めていく。今後各種補助の上乗せ、森林施策の集約化を図り、積極的に整備を進める。

安心、安全の医療体制は

**問** 市立総合病院精神科固定医師及び同科病棟の継続は。過疎化、高齢化が進行しているが、地域住民が安心して医療を受けられる体制は。

**答** 名寄地区精神障害者家族会など四団体から嘆願書が出され、昨年度より道、各関係と連携を図り、三医科大学へ要請を行っている。また診療面では市立病院、東病院、国保診療所で役割分担し、地域医療体制に努める。今後、地方センター病院として重要課題の医師確保等に努める。



精神科医師確保は 継続なるのか

一般質問

行財政改革と予算

林 寿和 議員（凜風会）

事務事業の大胆な見直し

**問** 来年度は新市の総合計画がスタートし、向こう十年間の将来像と具体的な施策が市民に示される。

財源確保が大きな課題だが、行財政改革についてどう検討され、新年度予算に反映させるのか。

**答** 八月から「新・行財政改革推進計画」策定に取り組み、一定の素案が出来た。

今後、各職場での議論や総合計画策定審議会総務部会の意見をもらい、一月に策定、予算編成に生かしていく。

合併後の厳しい財政状況の中で全てを支えることは難しく、事務事業の大胆な見直しが必要であり、新規事業は緊要度の高さ、既存事業は更に内容を検証し、再編、整理、廃止・統合を慎重に進める。

水稲の直播栽培試験を

**問** 一年の米作りで最も手間がかかるのが苗作りであり、将来を見据え、春先の労働力



水田直播専用機での播種作業風景

の軽減、大面積栽培の可能性、生産コストの削減を探るため、直播栽培の試験、研究に取り組むべきと考えるが。

**答** 農業振興センター（旧水稲試験場）で本年「はくちょうもち」での試験をしたが、移植と比べて生育、品質面で劣った。収量性では低いながらも一定の数字を出した。

現状での実用化はまだまだ難しいが、将来に向けてのデータ蓄積という面では試験の取り組みは必要と考えており、関係機関と協議する。

一般質問

協働を目指す自治組織

川村 正彦 議員（凜風会）

町内会・行政区の再編を

**問** 風連地区の行政区制度から自治会制度への移行、名寄地区での町内会再編、合併を契機として置くこととした地域自治組織への取り組みは。

風連合併特例区長の諮問機関として、新年度から十人程度の地域自治組織検討審議会を設置し、区域割りを含めて特例区設置期間中の移行を目指すし、調査、検討しては。

**答** 名寄地区の町内会は、四十数戸から四百戸を越える戸数の構成であることから、強制はできないが、町内会、地域で活動する団体等と話し合いながら、再編に向け理解を得る努力をしたい。同時に小学校区ごとの地域自治組織の設置を目指して、十九年度に地域協議会を立ち上げ、区割りの設定などの具体的な協議を進め、二十年度には制度化を目指したい。

これと並行して、市民と行政の役割責務を明確にした住



特例区の地域振興事業として実施した「白樺まつり」6月18日

民自治基本条例の制定作業も行い、市民組織も立ち上げ、制定に向けて、その必要性の市民合意を得られるように議論を深めていきたい。

地籍調査への取組を

**問** 土地取引の円滑化、境界をめぐるトラブル防止のためにも、国土調査法に基づく地籍調査に取り組むべきでは。

**答** 必要性は認識しているが、必要な職員配置も伴うこともあり、全道的に休止も多いが、今後検討したい。

一般質問

教育委員長の出番です

佐藤 勝 議員（凜風会）

まずは機の用意を

**問** 改正教育基本法が成立して、個人を大切にしている教育から国家を前面に押し出した教育と、いわゆる戦後教育が大きく様変わりする。いじめ問題は、そのための道具・手段にさえされてしまった感がある。そんな今こそ、中立・民間の目線で教育行政を見守る教育委員の活躍が期待される。今はない教育委員長の机も当然用意すべき。

**答** 教育委員会は合議制の執行機関で、中立・安定・民意の反映が課せられた義務だ。教育の継続性確保・地域住民意向の反映に配慮しつつ、教育委員個々の資質向上を図り分権時代の教育推進に努めたい。委員長の机は検討したい。

**総合計画の進行管理**

**問** 十二月二十六日答申の総合計画は、審議機関が諮問から百十二日間と、市の今後十年間の計画を練るには短すぎる。市民との協働を図る目的



市民の元気がまちの宝 地産地消フェアINなよろ 12月2日

からも疑問だ。始動後は行政評価システムによる進行管理により、目的達成度を明確にすべきで、その実施体制はできているか。進捗状況の情報公開の方法は。早期の実施で情報の共有を図れ。

**答** 進行管理は十九年度に「総合計画庁内推進委員会」を設置し、二十年から実施。同年、進捗状況チェックのために「市民委員会」を設置し、進捗状況をホームページで公開。早期に市民に情報発信に努める。

他の質問・特例区終了後の姿は・総合検診受診率の向上を

# 委員会活動をお知らせします

## 総務文教常任委員会

教育相談センター充実へ  
九月議会以降、三回の委員会の開催及び恵庭市、苫小牧市、洞爺町の行政視察を行った。委員会では、風連地区の都市計画税の課税について（十二月議会の可決）教育相談センター等の現状と課題（特にいじめ、不登校問題への対応で適応指導教室、ハートダイヤル体制の充実について



て理解を深めた）十二月議会で付託された「市営プール条例改正」について（事前に南プール視察を行い審査）合併による各種都市宣言の統一について（審議継続中）審議した。行政視察では、自治体基本条例の策定、読書コミュニティの推進等を学んだ。

## 民生常任委員会

請願を採択  
十月十日から十二日までの日程で行政視察を行い、当麻町の株久保組で「微生物を使った食品廃棄物の土壌活性化」について、伊達市のリハビリセンターで「身体障害者療護施設の運営状況」について

て、小樽市では知的障害者入所施設「和光学園」を訪問し、知的障害者の自立と社会参加について説明を受け、それぞれ研修した。

十二月四日・十三日に委員会を開催し、第三回定例会において付託された請願「児童デイサービス利用料の軽減を求める請願」を審議し、「採択すべきもの」と決定し、十五日の本会議に報告した。



## 経済常任委員会

道の駅事業等を審議  
十一月二十七日に委員会を開催し、名寄市企業立地促進条例の一部改正について、道の駅事業について担当職員が

ら説明を受け審議した。各委員から条例改正に対しては、利用状況を確認し、今後における有効的な制度の運用を求められ、道の駅については、



隣接地にある既存施設との協議内容及びトイレ等の先行を取りやめ、コンサルの期間を十九年二月二十二日まで延ばすこと等の説明を受けた。他に、水稻の作況指数等現在の状況報告を受けた。

## 建設常任委員会

所管事項を審議  
九月二十八日と十月二十六



日の二回委員会を開催した。  
 九月の委員会では、サン  
 ピラーパーク、森の休暇村の  
 管理に関する基本協議書につ  
 いて、旧風連町道路台帳の路  
 線番号・路線名変更について  
 本庁地区等一種市街地再開  
 発事業についてを審議。  
 十月は、平成十八年除排  
 雪計画について、十月八日の  
 低気圧による災害被害状況に  
 ついて、風連地区・用途地域  
 指定に伴う既存不適格建築物  
 について、水道管洗浄に伴う  
 「濁水」発の被害状況について、  
 他の報告を受け、それぞれ協  
 議を行った。

### 議会運営委員会

#### 第3定等について審議

十月二十七日、臨時議会に  
 向けた委員会を開催し、平成  
 十七年度決算の上程議案、決  
 算審査委員会の設定について  
 協議した。会期は十一月十日

から十五日までの五日間とし  
 委員長に佐藤靖委員、副委員  
 長に山口祐司委員を確認した。  
 また、議会運営上の調整に  
 ついて、決算委員会のイン  
 ターネットライブ中継を行う  
 ことを確認した。  
 十一月二十八日に第三定に

向けた委員会を開催し、会期、  
 議事日程等について協議。十  
 二月十四日は追加議案につい  
 て協議し、職員給与改正につ  
 いて、また次年度からの議場  
 の対面方式について協議し、  
 理事者と議員が向き合つて質  
 疑することを決めた。

- 教育予算の充実を求め、義務教育費国庫負担制度を堅持することを求める意見書
- 不公平税制や社会保障の後退をただし、安心して暮らせる社会を求める意見書
- NHKの国際放送に対する命令に反対し、電波法の改正を求める意見書
- 非核三原則の堅持を求める意見書
- 障害者自立支援法の抜本的な改正を求める意見書
- 農地・水・環境保全向上対策に関する意見書

#### 可決された意見書

- 日豪 FTA に関する意見書
- 法人税減税、庶民税増に関する意見書
- リハビリテーションの改善を求める意見書
- 医師確保と地域医療に関する意見書
- 森林・林業・木材関連産業政策と国有林野事業の健全化を求める意見書
- 全国森林環境税の創設を求める意見書
- 幹線道路網の早期整備と道路特定財源に関する意見書
- サンプルダム早期本体着工と完成を求める意見書

### インターネット で議会中継

市議会では昨年四月以降、  
 本会議場で開催されます定例  
 会、臨時会などの議会中継を  
 実施しています。

議会改革の一環として取り  
 組んでいるもので、議会の模  
 様は生中継と録画の二タイプ  
 で、名寄市政発展を願う白熱  
 した議論が楽しめます。

利用は名寄市のホームページ  
 右側の「議会中継」をクリ  
 ックしていただくだけ。過去  
 の中継録画もありますので、  
 ぜひご利用ください。

不明な点がありましたら、  
 議会事務局へお問い合わせ下  
 さい。

# あすなろ



風連物語  
市立名寄短大2年  
中澤 雅

十一月十九日二〇〇六年劇「風連物語」無事終了。私は昨年から裏方として市民劇に参加しています。今回は前回手伝うことのできなかつた大道具製作にも参加できて、自分達の作ったものを見てもらう喜び、使ってもらう嬉しさを感じました。  
私はもう卒業なので就職活



収穫を終えて  
風連町字西風連  
山崎 林治

今年も夏から秋の好天に恵まれて、農作物も順調に生育し、平年作以上の収量と、高品質な農作物を収穫する事ができました。しかし近年の農産物の低価格で、経営が圧迫されているのが実態です。  
そんな中で、前向きに高収益作物に取り組んでいる担い手の方が大勢おられ、頼もし

動もしなければいけない状況でした。それでも私が劇を捨てなかつたのは、劇の面白さはもちろん市民の方々の交流の楽しさがあつたからです。ただの学生なら市民の方々と関わる事はないと思います。名寄短大で松岡先生と出会い、市民交流の大切さを学びました。私は、短大で学んだ事を活かし、これからも頑張っていきたいと思っています。  
(甲子園で活躍した駒大苫小牧高校中澤竜也選手の姉)

く思っています。私も彼らに教えていただきながら、花作りに取り組んでみました。ずぶの素人には大変難しく、悪戦苦闘をしています。栽培技術はもとより、流通、コスト低減等彼らにはよく勉強し、仲間を増やし産地化に向けて努力しておられます。  
来年度からは、新しい農業施策が実施されます。希望を持ち、頑張る担い手の方の努力の報われる日が早く実現されるよう願っています。

## 議会日誌

九月

- 21日・議会報特別委員会
- 28日・福山市行政調査来名建設常任委員会
- 29日・各会派代表者会議

十月

- 16日・総務文教常任委員会
- 18日・道北支部議長会

(留萌市)

- 19日・歌志内市行政調査来名
- 26日・建設常任委員会
- 27日・議会運営委員会
- ・第二回臨時会
- ・決算審査特別委員会
- ・議員協議会

十一月

- 1日・広域行政圏市議会協議会理事會(東京都)
- 9日、10日、13日、15日
- ・決算審査特別委員会
- 10日・基地協議会北海道部会総会(稚内市)
- 16日・全国市議会議長会基地協議会理事會(東京都)
- 17日・総務文教常任委員会
- 21日・全国市議会議長会建設運輸委員会(東京都)
- 24日・各会派代表者会議
- 28日・議会運営委員会
- ・議会報特別委員会

## 編集後記

明けましておめでとございます。高速交通ネットワークは着々と延伸され、智恵文ICの開通で救急救命医療の役割りや地域産業、観光に活用される事が期待されます。さらに情報ネットの高速化も進んでいます。本年はBフレッツが名寄エリアにも拡大され、各種の情報をスピーディかつタイムリーに交換することができるようです。市内の全小学校にはパソコンが設置され、最新のプログラムで子どもたちは楽しくキーボードを操作しています。しかし世の中、速ければ良いとは限りません。第三のネットワーク「心の絆」が大切と考えます。親と子の絆、友との絆、地域の絆、そしてその原点は挨拶です。智恵文や風連では全住民が挨拶をします。子どもからの「おはようございます」の声は人を明るく元気にしてくれます。心の交流の輪をさらに広げていきたいものです。

